
布団の穴

源雪風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

布団の穴

【Nコード】

N2750K

【作者名】

源雪風

【あらすじ】

少年の布団に空いた不思議な穴のお話。

僕の掛け布団には穴がある。

ちょうど、どら焼き一個分くらいの穴だ。

布団の中に全身を入れてうずくまっていると、足元でその穴が薄ぼんやりと光っているように見えた。

穴のあいた布団は、三枚ある掛け布団の一番下だから、穴があっても光が漏れてくるはずないし、布団の外は暗いから、おかしい。布団の中で一回転して顔を穴の所に持っていた。

穴の中には風景が見えた。

映写機で映しているみたいに、布団の表面に光で描かれている。全く知らない場所だ。

白いうろこみたいなタイルが敷き詰められた大道りの両側に、ドールハウスみたいにかっちりした家がひたすら並んで続いている。

人は一人もいなくて、暇そうな鳩の集団が大道りをうろろしてる。空は溶けてきそうな程透き通った青さで、たまにため息みたいな淡い雲が現れては消えていく。

そんな景色を布団の丸い穴が額縁みたいに切り取っている。

しばらく見ていても、大して変わり無くて退屈だったので、穴に握りこぶしを突っ込んでみた。

ただの穴だ。

握りこぶしを抜くと、普通の穴に戻っていた。

穴をあなどっていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2750k/>

布団の穴

2010年11月18日02時50分発行